



# 学校便り 「志々伎の風」

No.16

平成29年11月30日  
文責  
平戸市立志々伎小学校  
校長 村田 俊郎

## 目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」  
「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

### 【ふるさと志々伎に見守られて】

「スリッパが足りない!」「椅子が足りない!」で始まった学習発表会(志々伎っ子フェスタ)、あいにくの小雨模様の天気でしたが、昨年の倍以上の参観者(約90名)でした。ありがとうございました。

多くの方の参観は、子どもたちにとって、とても大きな効果がいくつもあります。

①大事にされていることを実感する。②意欲が高まる。③物おじしない心が育つ。④感謝の心が育つ。⑤ふるさと志々伎を愛する心が育つ。

これらの中でも①が最も重要です。大事にされていることを実感することで、子どもたちの自尊感情(自己有用感)が高まります。自尊感情(自己有用感)を高めることは、人権意識の土台を作ることでもあります。

今後も保護者・地域の方と学校で手を取り合って、子どもたちを育てていきたいと考えています。よろしくお願いたします。

今年度からは、保護者・地域の方とのふれあいを多くしようというねらいで、出店をしました。



### 【出店】

#### 【1年】

##### 『わくわくおもちゃランド』

クイズコーナーで正解すると、どんぐりごま・マラカス・紙皿ゆらりん・けん玉のどれか一つをもらうことができました。はずれると、1年生が育てたアサガオの種を



もらうことができました。お客さんとのやり取りでコミュニケーション力を高めていました。

#### 【2年】

##### 『動くおもちゃやさん』

ごむ鉄砲・コロコロ・ピョンウサギ・ヨットカー・魚つりやさんと盛りだくさんのおもちゃやさんでした。保育園の年長さんに遊び方を説明する2年生、おもちゃで楽しく遊ぶ年長さんをうれしそうに見守っていました。



#### 【3・4年】

##### 『ふるさと志々伎：ポスターセッション』

ふるさと志々伎について調べたことを発表しました。保護者・地域の方が、子どもたちの発表を熱心に聞き、質問をされるので、やりがいを感じながら発表を続けていました。



#### 【5・6年】

##### 『茶店 シンデレラ』

おもてなしの心で、オニオンティー(玉ねぎ皮茶)・グリーンティー(緑茶)・バリーティー(麦茶)を提供しました。南部中学校の校長先生には、「中学校でお世話になります」と言いながら、お茶を差し出していました。

